

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村上 一弥

事業名 一般国道26号 <small>だいにほんわ</small> 第二阪和国道	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局																		
起終点 自：大阪府 <small>ほんなん</small> 阪南市 <small>じわんだ</small> 自然田 至：大阪府 <small>せんなん</small> 泉南郡 <small>みさきちょう</small> 岬町 <small>ふけ</small> 深日		延長 11.2km																		
事業概要 一般国道26号は、大阪府大阪市から和歌山県和歌山市を結ぶ延長約66kmの主要幹線道路であり、このうち、大阪府阪南市から和歌山県和歌山市に至る区間は、地域高規格道路として整備を進めている。 「第二阪和国道」「和歌山岬道路」はその一部を形成し、旧国道26号（和歌山阪南線）の交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時等の代替路の確保等を目的とした大阪府阪南市自然田～和歌山県和歌山市大谷に至る延長18.4kmの道路である。平成29年4月に淡輪ランプ～平井ランプが開通し、2車線で全線開通した。																				
S63年度事業化 (H17年度延伸)	S62年度都市計画決定 (H-年度変更)	H5年度用地着手																		
全体事業費 1,020億円		事業進捗率 約91%																		
計画交通量 29,100台/日		供用済延長 11.2km																		
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.6</td> <td>(残事業)/(事業全体) 154/ 2,095億円</td> <td>(残事業)/(事業全体) 872/ 3,370億円</td> <td rowspan="3">平成29年</td> </tr> <tr> <td>(1.2)</td> <td>事業費： 97/ 1,948億円</td> <td>走行時間短縮便益： 804/ 2,834億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 5.7</td> <td>維持管理費： 57/ 147億円</td> <td>走行経費減少便益： 55/ 365億円</td> </tr> <tr> <td>(6.9)</td> <td></td> <td>交通事故減少便益： 12/ 171億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.6	(残事業)/(事業全体) 154/ 2,095億円	(残事業)/(事業全体) 872/ 3,370億円	平成29年	(1.2)	事業費： 97/ 1,948億円	走行時間短縮便益： 804/ 2,834億円	(残事業) 5.7	維持管理費： 57/ 147億円	走行経費減少便益： 55/ 365億円	(6.9)		交通事故減少便益： 12/ 171億円		約91%
B/C	総費用	総便益	基準年																	
(事業全体) 1.6	(残事業)/(事業全体) 154/ 2,095億円	(残事業)/(事業全体) 872/ 3,370億円	平成29年																	
(1.2)	事業費： 97/ 1,948億円	走行時間短縮便益： 804/ 2,834億円																		
(残事業) 5.7	維持管理費： 57/ 147億円	走行経費減少便益： 55/ 365億円																		
(6.9)		交通事故減少便益： 12/ 171億円																		
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.9(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5～1.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.7(事業期間±20%)																				
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・第二阪和国道、和歌山岬道路に並行する和歌山阪南線（旧国道26号）では、交通量が約5～6割減少。平成29年4月の全線2車線開通後、開通区間の前後では交通量が増加してきており、一部区間で交通混雑の発生がみられる状況。 ・第二阪和国道周辺には観光施設が点在しており、全線開通後には観光入込客数が増加。休日やGW期間中に交通集中による速度低下が発生。救急搬送時の所要時間が平常時よりも長くなる等の課題がある。 ②交通安全の確保 ・第二阪和国道、和歌山岬道路に並行する和歌山阪南線（旧国道26号）では、死傷事故件数が約5～8割減少。第二阪和国道、和歌山岬道路と和歌山阪南線（旧国道26号）を合わせた死傷事故件数が約5～6割減少。 ③災害時等の代替路の確保 ・大阪府・和歌山県を結ぶ幹線道路のほとんどに異常気象時通行規制区間が設定されており、大雨等の自然災害により過去5年間で19回（延べ規制時間約174時間）の通行止めが発生。第二阪和国道、和歌山岬道路の整備により、府県間ルートが確保され、自然災害や異常気象時等にも強い、安全で安定した代替路を確保。																				
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・第二阪和道路建設促進期成同盟会（S34.12設立、岬町長、阪南市長、堺市長、高石市長、泉大津市長、和泉市長、忠岡町長、岸和田市長、貝塚市長、泉佐野市長、田尻町長、泉南市長等で構成）より早期整備の要望を受けている。 ・阪南市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会（S58.11設立、阪南市長、岬町長、阪南市議会議員、岬町議会議員、府市町議会議員等で構成）より早期整備の要望を受けている。 ・和歌山市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会（H16.7設立、和歌山市長、岬町長、市町議会議員等で構成）より早期整備の要望を受けている。																				

